管理番号：　　　　（記入不要）

　ひずみエネルギー密度関数（Mooney係数）無償サンプル申請書

　下記要件の解析用材料データを申請します。

　　　　　　　　　　　　　　　※書式自由ですので基本書式に沿って編集し、自由にご記入下さい。

-------　申請者　---------------------------------------------------------------------------------------------------

　会社名or団体名　　　　：

　所属部署（肩書、学生可）：

　氏　　名　［年齢］　　　：　　　　　　　　［　歳］/FEM解析経験年数　　　　年

　連絡先　　　　Tel：　　　　　　　　　　　　　　　e-meil：

※申請材料が複数ある場合、申請材料ごとにコピーしてお使いください。

材料名（管理用：仮で構いません）

　材質　　　　　　　　：　　　　　　　（例ニトリルゴム、天然ゴム）

　硬度orせん断弾性率　：

　　　　もしくは、短冊かダンベルによる引っ張り線図を、試験方法を明確にして提出して

　　　　頂いても、推定可能です。ダンベルよりも短冊が好ましく、標線間のひずみ測定は不可とします。

　　　　　短冊の断面形状（縦×横）、

チャック間距離を明確にして、右図の

２、３回目のへたり量が

明確になると、正確な

より正確なデータに

なります。

ようなデータを提出ください。

（可能でしたら電子データでお願いします）

　　　　注意１）硬度とヤング率は、必ずしも比例関係にありません。申請前、確認資料をご参照下さい。

注意２）せん断弾性率は、JIS K6254に基づく結果を添付ください。

　**解析対象製品**

　　　漫画絵でも構いません。どういう製品をどのような変形解析するかでデータが異なることが

ありますので、確認のためご記入ください。

ご記入欄

特定材料の二軸のシート引っ張り試験から、エネルギー導出サービスも実施しております。

お気軽にお問い合わせください。

**［申請前・確認資料］**必ずお読みいただき、疑問点はお問い合わせください。

　　標線間とチャック間の変位からの応力-ひずみ線図は異なり、見かけ上のヤング率も

****　異なります。

　　　試験片によっても、応力-ひずみ線図から求めたヤング率は異なります。

　　よって、短冊からのヤング率からの材料推定がBetterです。



硬度とヤング率（せん断弾性率）には一定の関係がありますが、必ずしも比例関係に

ありません。硬度計６０Hsを示す材料も、剛性は４０Hs相当のこともあります。

そのため、せん断弾性率か線図の提出をお願いします。



　適用範囲：エネルギー関数は満濃ではありません。解析により基となる材料データの

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　測定域を選択することが重要です。



参考）JIS書籍のコピーになります。

出展：JIS規格K6254　URL: <http://kikakurui.com/k6/K6251-2010-01.html>　を示します。

